

【 記 者 提 供 資 料 】
令和 7 年 6 月 2 4 日
市民生活部 環境政策課（担当：古家）
直通：559-5064 内線：2835

三田市における特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の確認について

クビアカツヤカミキリは、サクラやモモ・ウメなど主にバラ科の樹木を加害する特定外来生物で、昨年 7 月に三田市内（ふれあいと創造の里等）で初めて確認されました。それ以後、被害木等については防除ネット巻き、薬剤散布、伐採等の対応を行っており、新たな被害の確認はされていませんでした。

この度、新たに別の場所でサクラ及びモモからフラス（幼虫のフンや木くずが混ざったもの）と幼虫が発見されましたので報告します。

1. 被害の状況（四ツ辻交差点近隣）

- ①三田市東本庄 2736 番地 サクラ 2 本、幼虫 5 匹
- ②三田市東本庄 2467 番地の 7 モモ 1 本（枝 1 本の被害のみ）幼虫 1 匹

2. 確認と対応

- 6 月 19 日（木）サクラにフラス発見の通報
- 6 月 20 日（金）環境政策課、管理課職員がフラスの確認
- 6 月 23 日（月）兵庫県委嘱の樹木医により確認し対応済
 - ・サクラ 2 本防除ネット巻き及び薬剤散布
 - ・モモ 1 本、1 枝のみ被害が確認されたため切除
 - ・幼虫 6 匹はその場で捕殺

3. 今後の対応

- ・兵庫県や樹木医と連携を密にとりながら、通報の啓発や周辺パトロール、被害木には防除ネット巻き等防除対策を実施します。
- ※ 通報の啓発としては、広報誌及び行動範囲内の自治会回覧は実施済で、今後は公式ラインやウメ、モモ生産農家に注意喚起と情報提供を実施する予定です。

令和6年度の三田市におけるクビアカツヤカミキリの被害状況等について

1 生態及び被害等

- ・外来生物法で、特定外来生物に指定されている外来カミキリ。体長 2.5～4cm 程度で、全体的に光沢がある黒色に胸部が赤く、成虫は 500～1,000 個の卵を産む。
- ・サクラやウメ、モモなどのバラ科樹木に寄生し、幼虫が木の内部を食い荒らして枯死させる。このとき、幼虫は木の外にフラス（フンと木くずが混ざったもの）を排出する。成虫は6月上旬～8月上旬に発生する。

2 発生状況

(1) 県全体

令和4年6月に明石市で初確認後、神戸市、芦屋市、西宮市、三田市で被害を確認

(2) 三田市

- ・令和6年7月の初確認以降、成虫 27 頭及び被害木 51 本を確認

被害木 45 本→伐採済

被害木 6 本→被害の程度が軽かったため、ネット巻きの上、経過観察中

- ・確認場所は、ふれあいと創造の里及び同施設沿いの市道（いずれも市管理）

3 対応状況

